

**2010年度 外務省主催 NGOによるテーマ別能力向上プログラム(NGO研究会)
自立的なネットワークNGO・NPOの経営 ～ファンドレイジング×「共感」～**

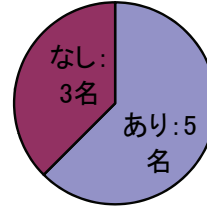
アンケート集計(有効回答: 8)

Q2. ネットワーク組織参加の有無について

有	5
無	3

- 「有」と応えた方の主な参加ネットワーク(複数回答)
- ・四国ネットワーク
 - ・地域ネットワークNGO連絡調整会議
 - ・よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム
 - ・RCE横浜、CSR推進NGOネットワーク
 - ・Joy-Box
- ネットワーク組織に参加する主な理由(複数回答)
- ・「国際協力活動」の必要性、重要性を市民に伝えるためには単体のNGOでは限界が有りインパクトが弱い。
 - ・NGO間、他セクター間の連携と事業実施、情報収集など
 - ・地方では知れない情報を入手したいため

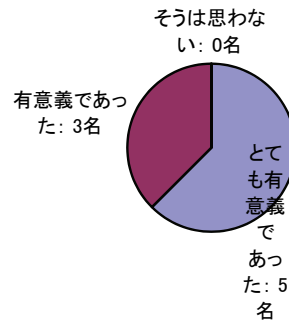
Q2. ネットワーク組織参加の有無について



Q3. 有意義であったか?

とても有意義であった	5
有意義であった	3
そうとは思わない	0

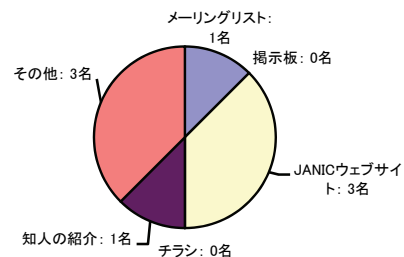
Q3. 有意義であったか?



Q6. 本会合の入手手段を教えてください

1	メーリングリスト	1
2	掲示板	0
3	JANIC WEBサイト	3
4	チラシ	0
5	知人の紹介	1
6	その他	3

Q6. 本会合の情報の入手手段



●各セッションの感想

調査報告書: コーズ・アクション/菅氏

- ・とても分かりやすかった。もう少しWebの解析の話が聞きたかった。
- ・発展フェーズに沿ったファンドレイジングの解説は理解し易かった。加盟団体、関心・ファン層の巻き込みなどの事例については、参考になった。更に聞いてみたかった。
- ・企業の経験もあり、NGO以外の方が聞いても納得できる内容であった。
- ・ネットワークNGOの発展フェーズが思っていたより広く取れることが分かりました。
- ・ネットワークNGOの強化、「何を売りにすべきか＝人である」という明確なメッセージであったと思う。ポイントの掴み方、発信の仕方が魅力的だったので、ファンドレイズする際の参考にしたい。

事例報告：国際協力NGOセンター／富野氏

- ・ネットワーク組織の存在意義、活動の具体的展開が実感できた。
- ・JANICの取組みがよく理解できた。強み弱みを深く分析することの大切さを聴衆者に伝えることに成功していた。JANIC単体寄付への注視は興味深かった。
- ・非常に分かりやすかった
- ・JANICの現状の課題認識、及びこれに対して行なったことが効果的であったか、について大変興味深かった。
- ・ネットワークNGOの資金獲得の方法、戦略、分析など、さまざまな角度で取り組んでられていることが理解でき、こうした手法を知ること自体、今後役立たせたいと思った。

事例報告：名古屋NGOセンター／田口氏

- ・しっかり纏まっており、話し方もよかった。人柄もあると思う。
- ・Nたまは、何度聞いても素晴らしい事業だと感じる。顔の見える会員、ソーシャルキャピタルがファンドレイジングに繋がる可能性があることは、気づきになった。
- ・活動の様子が良く分かった。これからの展開が楽しみである。
- ・人材開発と育成に取り組んでいく姿勢は素晴らしい、実力のタマモノです。
- ・ワールドコラボフェスタに関してとても参考になった。また「misonikomi募金」の構築についての色々な意見交換は楽しく行なえた。皆が「こうなったらいい」という意見を出し合える機会となったこと自体がとても参考になり、今後、そういった雰囲気づくりをしていきたいと思った。
- ・『Nたま』については、地域ネットワーク組織におけるユニークなファンドレイジングの手法であると思う。企業や行政と協働すれば、更に効果が出るのではないかと感じた。

事例報告：NGO福岡ネットワーク／本田氏

- ・市民の入り口が広く、よかった。巻き込みのつぎのステップに期待(協力したい)
- ・地域に密着した倶楽部FUNの取組みは素晴らしい。ファーストコンタクトを次のファンドレイジングに繋げていくのが楽しみ。
- ・これからNGOが行なう団体の参考になる内容であった。
- ・立地のいい事務所と、倶楽部FUNの実績と課題に共感しました。通り過ぎずに一緒に歩める仲間をつかまえる活動に期待します。
- ・既存のコンテンツを見直すことの重要性を感じた。新しい事業を始めることも大切であるが、既存事業のポテンシャルを伸ばしていく手法を考えることも重要であると感じた。

事例報告：国際ボランティアセンター／阿部氏

- ・テーマの切り出し方がデータから纏められ、整然としていて説得力があった。
- ・事業型のNGOによる地域ネットワークがとても興味深い。ファンドレイジングの試みも参考になった。
- ・事業型NGOの行なうネットワーク活動という点で参考になった
- ・事業型NGOがネットワークNGO化していく過程は珍しい現象なので、興味深く拝聴しました。
- ・東北圏内に国際協力系のNGO又は任意団体がどれほど存在するのか、認識できたことは有意義であった。ネットワーク組織の存在が重要であると思うので、IVYが東北地区のネットワーク組織を目指すことに大いに意義を感じる。その際、従来までの形式に拘らずに斬新な形態をとったほうがよいと思う。

ネットワーク組織の運営や活動に関し、関心あるテーマは？(複数回答)

- ・中間支援組織が提供していけるNPOコンサルティング、コーディネートの種類、またはニーズのあるもの
- ・効果的なファンドレイジング
- ・CTの活用
- ・企業との連携
- ・ネットワーク団体の自律的な経営と、これからの可能性
- ・NGOの中だけではなく他のNPO分野の垣根を越えて連携することの意味について考えたい。
- ・ネットワーク組織と行政機関との共同事業

その他：感想

- ・発表者みな、共感の資金調達に「ファンド創設」という結論に至っていたことには少し違和感があった
- ・今回のテーマは、NGOのみならず、非営利組織共通のテーマだと思います。運営について課題は多々ありますが、結局ファンドレイジングなのだと感じた。大きな発展をするにはどうすべきか、非常に難しい問題あると思う。